



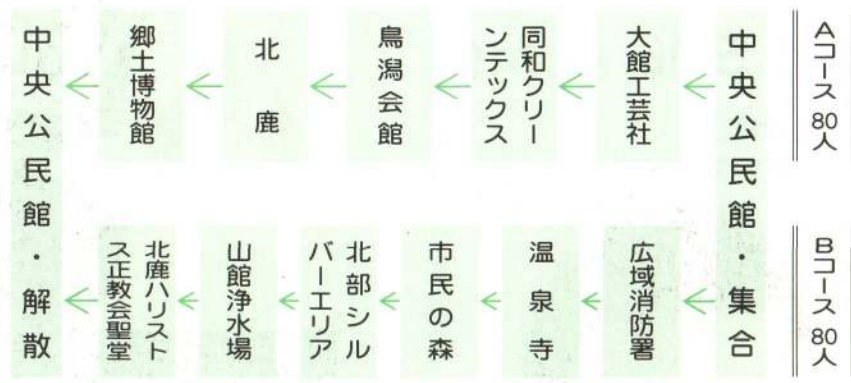
春の ふるさと探検号

6月16日
金曜日

定員 A・Bコース

各80人

バスで市内の施設を見学 参加者募集



とき 6月16日(金)
8時50分 中央公民館集合
見学コースと定員
Aコース 80人
Bコース 80人

対象 市内在住のかた
※ふるさと探検号は秋にも予定しています。今回参加されるかたの秋への参加はご遠慮ください。
※参加料は無料ですが、飲み物と昼食をお持ちください。また、Aコースは施設入館料200円がかかります。

申し込み方法

必ず往復はがきでお申し込みください。はがき1枚に2人まで記入できます。往信用に希望のコース、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してください。返信用には代表者のかたのあて先をお書きください。

締め切り

6月6日(当日消印有効)
※応募者が多数の場合は抽選のうえ決定し、はがきの代表のかた全員にお知らせします。

応募と問い合わせ

〒017-8555
大館市字中城20番地
大館市役所ふるさと探検係
問 総務課広報広聴係
☎ 49-3111(内線258)



本に親しむ

市長リポート No. 205

市立中央図書館は、秋田県北秋田郡立図書館として明治時代に創立されて以来、十三年度で百周年を迎える大変歴史のある図書館です。昨年の四月から、これまでは閉館していた土曜日の午後も開館することにし、さらに市内に通勤・通学している他町村のかたにも館外に貸し出しするサービスを始めたところ、たくさんのかたに利用していただき、これまでで最高の入館者数を記録しました。前年度を八千人以上上回る利用者数で、貸し出した本の数では九万冊を超えています。今年度は、夏の暑いときでも閲覧や学習など幅広く図書館を利用していただけのように、冷房設備をさらに増設する予定です。図書館の本は、一冊あれば多くのかたが読むことができます。作家の皆さんも大変な苦勞で一冊の本を完成させているわけですから、それをただ眠らせておかないためにも、ぜひ図書館へ足を運んでいただきたいと思います。

ところで、私は本が大好きです。一生という短い期間の中で、しかも目が見えてものが読める間にどれだけのことを知ることができるかは、そのひとの好奇心によります。コンピュータが作り出すバーチャル・リアリティーよりも豊かな仮想空間が、本を読むことで容易に可能になるわけです。文字を通して自分の想像力を働かせることで、内面性をどんどん豊かにもしてくれます。最近では内面世界を強く刺激してくれる本はだんだん少なくなっているように思います。ですが、それをまた探し当てたときの喜びは何物にも替えがたいですし、読めることは本にありがたいことだと感じます。

私は毎日八紙の新聞を読みますが、ほかに読みかけの本がいつも十冊ほどあります。それぞれの本を並行して読むことで、また別の想像の世界に入り込めます。本はひとの奥行きを深めるものだと思います。もっと本に親しみましょう。

小畑 元